

いーたん

飯南



いいなんちょう

飯南町広報

平成20年4月21日 No.40

4月号

町長所信表明

平成20年度の予算が決定・飯南町行政機構組織など

在校生に祝福を受ける新入生(頓原小学校入学式)

町長所信表明

飯南町長

山崎英樹

町政運営の4年目にあたり、私は特に次のことを重点課題として取り組みます。

1 農林業を基幹とする産業の振興

米、施設園芸、畜産を柱に、地域産品を広く売り出していくため「飯南ブランド」の確立に努めます。「飯南町」の知名度はまだ不十分です。町のイメージ、知名度向上を目指します。

2 定住対策と交流人口の拡大

住民が飯南町に暮らす意義を認め、地域間の交流の推進、働く場の確保や快適な生活を享受できる環境整備、子育てや保健医療の充実など、総合的な定住対策を進めます。

3 地域力の向上とコミュニティ対策の推進

集落や自治区の現状と将来を見通した上で、地域活性化に向けた新たな取り組みに対し、支援を強めます。

これまでの取り組みにより、さまざまな芽が芽吹いてきました。この芽を咲かせ、実を結ばせるため、私は残された任期に、全力を傾ける決意です。

当面する行政課題

■行財政改革の推進

行政経費の節減と効率的な行政運営に努めた結果、単年度の収支均衡を図ることができました。（繰上償還を除く）

しかし、計画的な繰上償還を続けなければ、早期是正措置団体への適用を受ける水準になります。「行政改革推進大綱」の着実な実施と、中期的な財政見通しを的確に把握し、行財政健全化への取り組みを強化します。

■病院事業

懇談会を開催し、町民の皆さんから、飯南町の医療について意見を伺いながら、健康で安心して暮らせるまちづくりの拠点として、方向付けを行います。また、病院給食部門の民間委託を実施し、医薬材料費の在庫管理を徹底するなど、経費の節減を進めます。

医師は、20年度も現状の体制が確保できました。雲南総合病院、県立中央病院からの医師派遣も、継続されます。

■公立雲南総合病院

経営が悪化しており、病院の自助努力だけでは状況を打開

できないため、総額約2億円の長期貸付を行います。内訳は、雲南市が1億9800万円、奥出雲町、飯南町がそれぞれ1000万円です。

今後の財政支援が困難なことも申し入れており、雲南市の市立病院化を検討する協議機関を設置し、8月末までに結論が出る予定です。

■琴引フォレストパーク

様々な地域振興上の観点、廃止した場合に生じる多額の繰り上げ償還など、現実的な財政事情から存続を考えています。継続する場合の運営経費や、地域振興上の波及効果、運営形態等についての検討を進めています。

■(株)サブ口島根

クマザサエキス事業は、地域資源を活用した内発型事業として期待していますが、様々な事情で企業活動が停滞しています。大口の販売先も確保できる見込みですが、資金事情が悪化し、町に対して運営資金の要請がありました。

誘致企業であり、飯南町の特性を生かせる事業という観点から、要請に応える考えです。

主要施策

地域を支える産業を創出するまちづくり

■生命産業創造プロジェクト
森林セラピーを核とした体験交流プログラム、薬草木等の栽培と産業化など、具体的な事業の推進に取り組みます。

■森林セラピー事業は、20年度の誘客目標を800人としています。交流事業と組み合わせ、町内施設の活用へ結びつけるなど、飯南町への流入人口を増加させ、地域経済への波及効果を拡大させます。

地域づくりの企画運営を担う組織として、里山コミッションを設置し、特産品の販売、都市交流、飯南町の情報発信を主体的に取り組みます。

■農業振興

米生産対策として、売れる米づくり研究会に、エコ米生産に係るマニュアルを作成いただき、普及に努めます。

転作の対応として、農業所得の向上を目指した作物の検討を行うため、施設園芸研究会に研究いただいています。今後提案のあった果菜類の模栽培に係る実証を行います。

知恵を出し汗を流して難局に立ち向かいます

■畜産振興

雌牛（繁殖牛）保留対策に加え、県外雌牛の導入に対し、補助金を4頭分準備しました。希望農家を取りまとめ、順次導入します。

粗飼料として、稲わらの確保が重要です。JA、集落営農組織、法人、認定農家が畜産農家と契約を行うなどして、稲わらの活用を推進するために、収集機械を導入します。

■林業振興

町行造林事業については、補助金の減少により、事業量を縮小しました。志津見地区の森林整備協定事業は、引き続き5haを実施します。公社造林事業も、19年度と同様の事業量を実施する予定です。

■商工業の振興

商工業の活力を維持するため、商工会職員の人件費助成や、街路灯の維持管理費の助成を継続

続します。

中小企業に対する県の制度融資の融資枠の残額が、商工業者の経営拡大や経営安定への資金需要に、対応できない可能性があります。300万円の預託を行い、融資枠を4500万円に拡大します。

豊かな自然を守り活用するまちづくり

■町の誇りづくり事業

「わが町は美しく」町の花、ばたん」の普及、美化、清掃活動、フォトコンテストなどに取り組んできました。引き続きこれらの活動を支援します。

「飯南町女性ネットワーク会議」からは、引き続き女性ならではの提案や意見をいただきます。

快適で安心できる住みよいまちづくり

■定住促進対策

町営住宅は空きがない状態です。21年度の建築に向け、基本設計を行います。町営住宅や空き家バンク制度、泉川住宅団地の分譲など、住宅情報の共有、一元化等を進め、定住希望者に情報発信します。

■道路網の整備

国道54号の整備について、赤

名、晴雲トンネルの改修等を、関係機関に要望します。国道184号の整備については、一部現地調査が終了し、逐次工事に着手されます。

県道佐田八神線の整備については、広域農道との重用区間である雲南市境付近の改良整備促進を要望します。

■簡易水道・下水道整備

頓原地区の簡易水道区域拡張事業を継続し、敷波浄水場と敷波・花栗地区の配水管を整備します。

公共下水道は、赤来浄化センターの2池目の水処理施設を整備します。合併浄化槽は、25基の整備を行います。

住民相互が支え合うみんなにやさしいまちづくり

■健康づくりの推進

生活習慣病予防の普及啓発や、年齢や体力などに応じた健康づくりを継続します。

食生活や生活習慣の変化から、若い世代からの予防が必要です。人間ドック・ミニ人間ドックの対象に、30歳、35歳の方も加えます。

■子育て支援

保育所は民営化を検討中であり、将来的な児童数の減少も考慮し、保育士の採用を控えています。退職も続いています。保育体制を整え、保育サービスの充実に努めます。

地域での子育て環境づくりのために、放課後児童クラブを継続します。放課後の子どもの安全・安心な居場所を確保するため、放課後子供プラン推進事業を、赤名小学校、来島公民館、頓原公民館で実施します。

■食育推進計画

「飯南町食育推進計画」の素案がまとまりました。この計画に基づき、飯南町の特性を生かした食育を確立し、家庭、保育所、学校、地域が連携して、食育を推進します。

心豊かで創造性あふれる人材を育てるまちづくり

■地域をつなぐ人づくりの推進
県の地域教育コーディネーター派遣事業を受け入れ、家庭・学校・地域が連携協力した教育環境づくりと、教育力の向上を重点施策として取り組み、保小中高の連携を支える体制の充実や、里山教育・里山文化を担い地域



を繋ぐ人づくりを推進します。

■飯南高校

中高一貫教育の推進や、地域と一体となった学校運営の充実に努めるため、飯南高校支援プロジェクト21と連携し、各種教育活動の助成、支援を行います。

住民の自立（自律）と行政との協働で運営するまちづくり

■元気な地域づくり事業

新たに「元気な地域づくり事業」を実施し、各地域で現状分析や将来予測を踏まえたカルテを作成します。これに基づき、地域の将来像を表す地域づくり計画を策定します。

■住民提案型事業

これまでの2年間で、11事業を認定し、それぞれが目標に向かって事業展開をされています。地域の活性化やコミュニティビジネスの創出に結び付くことを期待しており、引き続き取り組みます。



飯南町の平成20年度 予算が決まりました

89億1,641万円

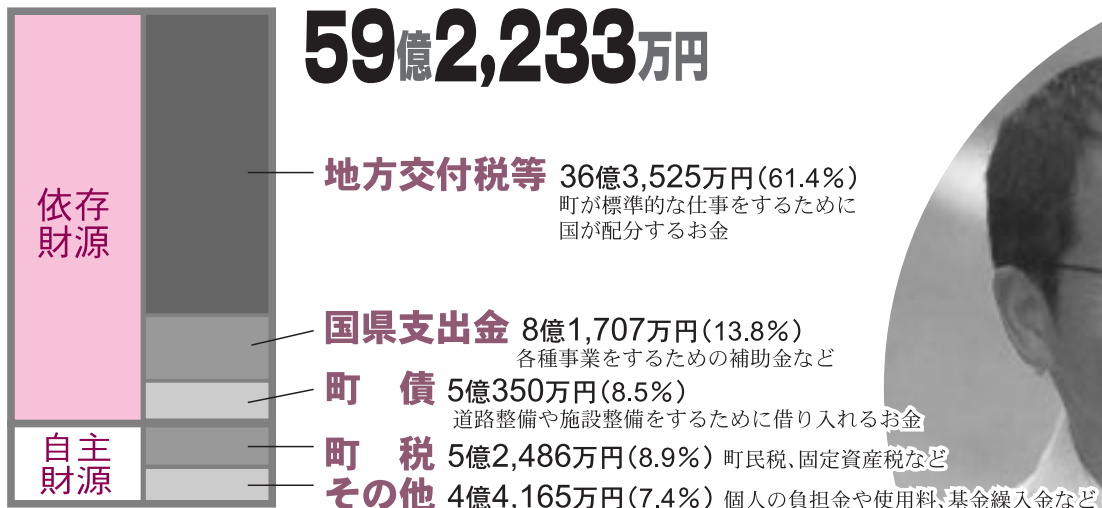
今年度の予算は「農林業を基幹とする産業の振興」「定住対策と交流人口の拡大」「地域力の向上とコミュニティ対策の推進」を重点施策として予算編成を行いました。
地方債(借金)の繰上償還(予定より早く返済すること)を財源の一部として、基金(貯金)の取り崩しを行うこととしています。その他の経費については、収支の均衡が図られた予算編成となりました。

一般会計 59億2,233万円

昨年度の当初予算と比較して、12.9%の減額予算となりました。これは、平成18年度の豪雨災害などの災害復旧費が、9億3,144万円減少したことが主な要因です。この災害復旧費を除いた予算を比較すると1.0%の増額予算となっています。

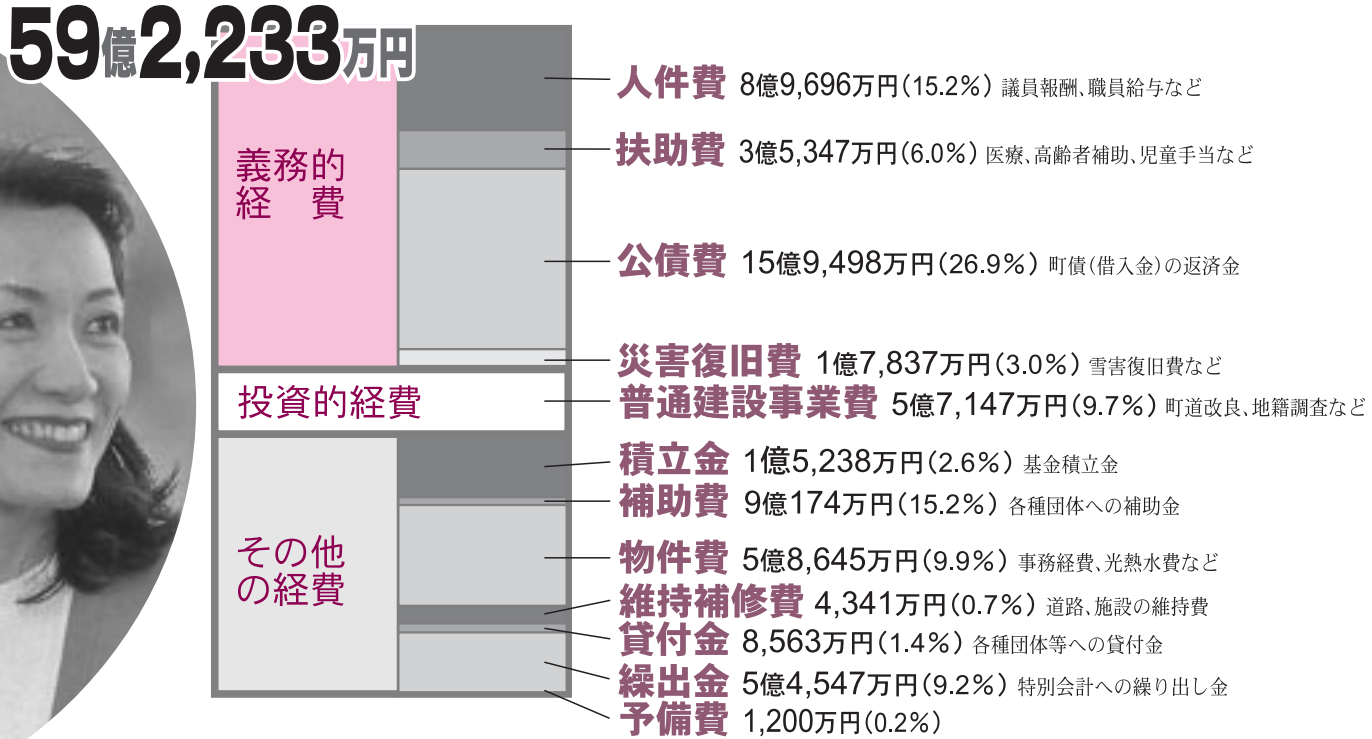
歳入

町税や使用料などの自前で調達できる財源(自主財源)は16.3%と少なく、歳入のほとんどを地方交付税、国県支出金など(依存財源)に頼っています。昨年度と比較して、国県支出金が50.5%の減額となっています。これは、災害復旧費に係る補助金が減額したことが、主な要因です。



歳出

公債費(借入金の返済)が約4分の1を占めていることが、財政硬直化の大きな要因となっています。これを減少させることが大きな課題となっていることから、借り入れ金の繰上償還や借り入れの抑制を行うことにより、将来的な公債費の減少を図ります。
事務経費、施設管理費などについても節減に努め、行財政の健全化を目指します。



病院事業会計 11億9,316万円

入院・外来など医療提供・体制整備の充実を図ります。

収益的収入および支出		
病院事業収入 10億5,606万円		
内 訳	収 入	主 な 内 容
医 業 収 益	8億4,657万円	入院、外来診療収入、検診事業収入
医 業 外 収 益	2億949万円	他会計および国・県からの補助金
病院事業支出 10億6,838万円		
内 訳	支 出	主 な 内 容
医 業 費 用	10億3,796万円	人件費、薬品費、診療・給食材料費
医業外費用等	3,042万円	借入金利息

資本的収入および支出		
資本的収入 7,110万円		
内 訳	収 入	主 な 内 容
一般会計出資	7,110万円	一般会計からの出資金
資本的支出 1億2,408万円		
内 訳	支 出	主 な 内 容
建設改良費	848万円	医療機器備品購入費
企業債償還金等	1億1,630万円	施設建設などの元金返済
●資本的収入の不足額 3,750万円は、当年度分損益勘定留保資金(減価償却費など)3,750万円で補てんします。		

特別会計 総額18億92万円

今年度から後期高齢者医療制度を円滑に実施するために、後期高齢者医療事業特別会計を創設しました。簡易水道事業、下水道事業については、計画に基づいた整備を行います。

特 別 会 計 名	予 算 額	主 な 内 容
国民健康保険事業	7億4,038万円	保険者としての医療費負担
老人保健事業	1億390万円	老人医療費の負担
後期高齢者医療事業	1億5,551万円	老人医療費の負担
介護保険サービス事業	2,166万円	訪問看護事業
簡易水道事業	3億4,266万円	飲料水の供給・傾原地区の施設整備
下水道事業	4億3,555万円	施設の維持管理・整備による処理区域拡大
住宅新築資金等貸付事業	126万円	公債費の償還

予算の主な使いみち

■総務関係———7億8,696万円
自治振興組織等の活動支援…1,054万円
地域交流の促進 ……931万円
森林園芸療法等研究プロジェクト ……482万円
健康商品開発プロジェクト ……459万円
志津見ダム周辺環境整備 ……3,600万円
町長選挙実施経費 ……1,060万円
農業委員会委員選挙実施経費 474万円
☆飯南ブランド確立推進事業…1,023万円

■民生関係———9億2,250万円
福祉活動の推進 ……3,149万円
養護老人ホーム入所措置 ……6,706万円
老人福祉対策の推進 ……5,304万円
地域包括支援センター運営 2,891万円
障害者福祉対策の推進…1億3,009万円
乳幼児医療給付 ……533万円
保育サービスの実施 ……1億5,172万円
児童手当の給付 ……3,609万円
☆上赤名介護予防拠点施設の改修 300万円

■衛生関係———6億2,024万円
感染症・疾病の予防 ……476万円
乳幼児健診等子育て支援 ……498万円
飯南病院の運営支援 ……2億6,889万円

■農林水産業関係—— 5億356万円
中山間直接支払事業 ……1億4,302万円
農地・水・農村環境保全事業 1,605万円
優良牛確保対策事業 ……265万円
新規農業就業者の支援 ……588万円
地籍調査事業の促進 ……5,925万円
造林事業の実施 ……6,325万円
森林整備地域活動支援交付金 1,802万円
☆がんばる地域応援総合整備事業 352万円

■商工関係——— 9,029万円
商工会活動運営の支援 ……1,674万円
☆中小企業制度融資資金事業 ……300万円

■土木関係———6億2,707万円
町道の除雪対策 ……3,158万円
町道新市赤名線の整備 ……8,502万円

町道塚原和田線の整備 ……9,002万円
町道灰屋線の整備 ……3,801万円
町道花栗張戸線の整備 ……9,535万円
緊急避難道路の整備 ……1,001万円
☆公営住宅建設事業 ……727万円

■消防関係——— 1億6,929万円
県消防操法大会等への参加 ……351万円
☆A E Dの設置 ……40万円

■教育関係——— 3億4,390万円
飯南高校への支援 ……707万円
小学校教育の推進 ……8,823万円
中学校教育の推進 ……7,210万円
公民館活動の推進 ……1,742万円
放課後子どもプラン推進事業 420万円
埋蔵文化財発掘調査 ……507万円
☆学校支援地域本部事業 ……277万円
☆地域コーディネーター派遣事業 208万円

■災害復旧関係———1億7,837万円
☆新規事業

飯南町の職員を紹介します

町職員の配置を次のとおり行い、平成20年度の業務を開始しました。今年度は、組織機構を一部変更しました。主な変更点としては、自治振興課を住民課へ統合しています。また企画情報室を廃止し、総務課と政策推進課へ業務を分担しています。道の駅赤来高原内には、政策推進課里山コミッション担当を配置しました。地域づくりの企画運営を担う組織として、特産品の販売、都市交流、飯南町の情報発信を主体的に取り組みます。

町長

山崎 英樹

副町長

田部 五月

教育長

中 稔

赤名庁舎

■76・2211(代)

頓原庁舎

■72・0311(代)

総務課

■76・2211

課長：安部 亘
総括監：朽木 博文
総務担当 ■76・2211
主な仕事 行政一般、庶務、秘書、情報公開、消防防災、課長会議、選挙

税務担当

■76・2214

主な仕事 税務、国保料、後期高齢徴収、固定資産評価審査委員会
那須和博 野津史昭
後長 隆哉

政策推進課

■76・2214

課長：松田 辰志

企画・商工担当

主な仕事 企画、商工観光、都市交流、タム

石橋 洋司 田部 宏幸

永井 あけみ 内田 寿一

三上 大輔

プロジェクト担当

主な仕事 生命産業

三島 光暁 藤原 将洋

まちづくり推進室

伊藤 厚志 立脇 峰子

吉井 健司

議会事務局

■76・2190

事務局長：景山 泰治
主な仕事 議会運営、監査

出納室

■76・2215

室長：景山 鐵雄
主な仕事 出納事務、指定金融機関、決算事務
石橋 美枝子

赤名地区

赤名公民館 (赤名農村環境改善センター)

■76・3800

主な仕事 公民館事務

難波 慎司

里山コミッション

(道の駅赤来高原・総合交流ターミナル)

里山コミッション担当

■76・2903

主な仕事 地域特産品のPR・販売等の促進

奥野 憲孝 安部 亜裕子

頓原窓口

■72・0311

主な仕事 窓口事務、他庁舎業務の補完、自治区長会
伊藤 志津江 山中 律子
北野 恵

農林課

■72・0313

課長：熊谷 利夫

農林業担当

主な仕事 水田農業、特産園芸、林業、畜産、有害鳥獣、土地改良区

中祖 勉 岸 一輝

田中 慎二 高木 ゆかり

田村 正 田村 剛

農業委員会事務局 ■72・0313

主な仕事 農業委員会、農地事務

松本 稔

地籍調査担当

主な仕事 地籍調査

神田 進 山戸 栄吉

藤原 靖久

建設課

■72・0311

課長：安部 忠司
土木担当 ■72・1900
主な仕事 公共土木、農林土木、災害復旧、土地開発公社、公営住宅
田原 久雄 大谷 哲也

桐原 敏 藤原 一也

本間 康浩 塚原 誠

上下水道担当 ■72・1041

主な仕事 水道、下水道、農業集落排水、合併浄化槽

恒松 眞司 三島 智恵

和田 真一 安田 健一

志々地区

志々支所

■73・0001

所長：和久利 久
主な仕事 窓口事務、他庁舎業務の補完

藤原 裕 藤原 由実子

頓原地区

教育委員会 (生涯学習センター)

教育長：中 稔

次長：金子 幸範

学校教育担当 ■72・0301

主な仕事 庶務、教育行政統括、学校教育

深石 尚志 渡邊 典子

佐々木 克己 岡田 朗

吉村 賢三 岸野 富夫

田村 利哉

社会教育担当 ■72・1776

主な仕事 社会体育、人権教育、公民館運営協議会、文化振興、文化財保護

山崎 順子 那須 忠巳

石飛 幹祐

保健福祉課 (保健福祉センター)

課長：空岡 健

保健担当 ■72・1770

主な仕事 国保給付、後期高齢給付、子育て、母子保健、予防接種、健康づくり

藤原 幸子 森山 篤

本村 潮美 渡邊 亮子

石飛 悦子 田村 素子

神田 香阿里

福祉事務所 ■72・1773

主な仕事 生活保護、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉

安部 農 林 泰宏

福祉担当 ■72・1770

主な仕事 社会保障、介護保険、介護予防(地域包括支援センター)、民生児童委員協議会

山下 英次 今岡 徳人

(看護師) 小玉 千恵 石橋 奈美

(保健師) 山戸 由紀



飯南病院

■72・0221(代)

院長：萬代 恵治

副院長：清原 芳郎

診療部

院長：萬代 恵治

主な仕事 診療

(医師) 清原 芳郎 三上 隆浩

成田 泰子 門脇 智子

医療技術部

部長：三上 隆浩

主な仕事 薬剤、栄養、放射線、検査、リハビリ、歯科衛生

(診療放射線技師) 廣江 智亮 田部 裕子

(臨床検査技師) 藤原 絹子 小野 智子

(薬剤師) 吉田 和久

(理学療法士) 嘉田 将典

(歯科衛生士) 松村 治香 那須 有美子

(栄養士) 奥野 裕衣

地域医療部 ■72・1781

(訪問看護ステーション)

部長：清原 芳郎

次長：安田 勲

主な仕事 入退院調整、病々・診療連携、医療相談、訪問看護

(看護師) 明見 民子 須山 奈穂子

管理 事務長：景山 登美男

主な仕事 庶務、人事、診療報酬業務、受付

渡邊 博司

派遣職員

雲南市・飯南町事務組合

三上 光一 朽木 宣夫

雲南広域連合

関島 哲郎 岡田 祐也

後期高齢者医療広域連合

海田 竜一



中村三四二さんに高齢者叙勲



高齢者叙勲として旭日単光章を受章された中村三四二さん(上赤名)は、昭和60年から平成9年までの3期12年を、旧赤来町議会議員として在職されました。

在職中は、町民の融和への取り組み、保健福祉施設の整備、農業振興に対する提言・助言など、地域の発展に尽力されています。

その他、島根県改良普及職員協議会役員、赤来町農業協同組合理事、同町社会福祉協議会理事、同町老人クラブ連合会会長などの要職を歴任し、様々な分野で多大な貢献をされました。

病院審議会が報告書を提出



報告書を手渡す安部朋次会長

「飯南町の医療のあり方」について委嘱していた飯南町病院事業審議会から、3月31日に検討報告書の提出がありました。

■報告書の内容(抜粋)

地域の実態等を総合的に判断すると、病院事業の民営化は不可能。現状の病院・診療所の機能を維持すべきである。

病院と診療所の連携を図り、地域医療の充実に努める必要がある。

健康で安心して暮らせる町「飯南町」を実現するために、「医師確保」が最重要課題である。

町はこの報告書を受け、先日実施したアンケート調査の結果も踏まえながら、今後の医療事業に関する方向性を導きたいと考えています。

飯南町里山コミッションを開設



左から奥野主任、金岡事務局長、玉野企画員、安部主事

飯南町の情報発信や、特産品の販路拡大を主体的に取り組む組織として、飯南町里山コミッションを開設しました。

飯南町総合交流ターミナル(道の駅赤来高原内)に事務所を置き、民間から公募した局員(2人)と政策推進課職員(2人)の4人が協力し、地域づくりの企画運営を担います。

■飯南町里山コミッション
スタッフ(敬称略)
事務局長……金岡 豊(頼原)
まちづくり企画員……玉野英敬(小田)
政策推進課職員……奥野憲孝
安部亜裕子

大阪樹脂化工が島根工場の設備を増強



溝口善兵衛知事、大阪樹脂化工の石川博敏社長(中央)と固い握手を交わす山崎町長。

町の誘致企業で、プラスチックシート製造などを行っている大阪樹脂化工が、製造拠点を島根工場(上来島)に集約することになり、3月26日に県庁で県、本町と立地に関する覚書に調印しました。

同社は、情報技術関連などでの需要増と生産、物流コスト増に対応するため、島根工場への新たな生産設備の導入と従業員数の増加を図っています。

5月からフル生産に入る予定で、3年間で12人の新規採用が計画されており、新たな雇用の場の確保も期待されます。

施設園芸研究会が振興計画を提出



計画を説明する同研究会委員長の塚原勉さん(写真中央)

町は、水田の転作への対応として、飯南町施設園芸研究会を立ち上げ、農業所得の向上を目指した作物の検討を行ってきました。同研究会が協議結果をまとめ、3月28日に町長へ「施設園芸の振興計画」を提出しました。

同振興計画には、現状と課題や対策、将来の目標など、具体的な内容が盛り込まれています。

町はこの振興計画を基に、本町の施設園芸の方針を定め、新たな農業のあり方として取り組みたいと考えています。

頼原公民館短歌教室

短歌川柳

* 仏にも鬼にもなれず寒日ぐれ銀の小鯛ひたすら捌く
* 大万木 琴引仰ぐ我が里に短歌大会のある春日待たるる
* 大皿に描かれし雛さま孫たちの幸せ祈らむ雪国の里

三月詠草
藤原 正
那須 キミ
石田 文子

* 寒き朝天気予報の雪だるま花の咲く春まだまだ遠し
* 離れ住む娘は大雪を気づかいて屋根の雪下ろしまた帰りゆく
* 鰯二尾買えば足りうる節分に今年も会えた安らぎにいる
* 登き日は海軍兵の日もありき八十歳迎えず夫は逝きたり
* 吹雪く日のスキー教室終えし孫すばやく兄は重き靴脱がす
* ねむられぬ夜中に一首歌ができ老いの私の生きがいとなる
* 日田仰ぐ大万木山に見守られ病の癒えて五年過ぎたり
* 春弥生畑も野山も雪厚く菜花咲く日を待ちわびている
* 冬日にも一花みせんと桜木は如月の朝水花を咲かす
* 講師先生と共に推敲重ねつつ楽しんで今日の短歌会終る
* 古希祝う晴れ着は母の形見なり節目すこやか家事にいそしむ
* 白鳥よ無事北帰行よとつばやきて風花のとび斐伊土手を駆ける
* 雪とけて白水仙は足元に香りととももの春と知らせる

藤原 秀子
千葉トミエ
戸田登喜栄
渡辺ヤエコ
熊谷 允子
田中寿美江
片岡 千鳥
景山 敬子
岡田 繁富
景山サチ子
三上 朋子
景山 牧栄
原 美千枝

とんぱら、いびき川柳会

三月句会詠草

* 春や春我が身一つと持て余し
* 背も腰も伸びして春を喜ばう
* 生涯の夢は覚めないさくら色
* 春が来て結び直した靴の紐
* 九い月欠ける不幸を背負つてる
* わだかまり解けてうれしい酒になる
* 読み聞かせ同じ絵本を捲っている
* 生きて行く難しいのに就いて行く
* 二度とない今日という今生きて行く
* 愛されて生きられる様努力する
* 里山の清しき水に生きる今
* 精一杯生きた飯面の二十四時

景山 敬子
盛政 雨石
加藤 安次
渡辺 柳子
田中寿美江
品川巴千子
石飛 静子
後長 淳子
岩崎キミヨ
東原 福子
江角 義信
福岡 秀夫

飯南病院 新スタッフ紹介

4月1日付で、飯南病院へ医師2人が着任しましたので紹介します。



門脇智子

担当診療科:内科
出身地:隠岐の島町
前任病院:自治医科大学付属さいたま医療センター



成田泰子

担当診療科:内科
出身地:江津市
前任病院:隠岐広域連合立隠岐病院

新規採用職員

4月1日付で、次の3人を職員として採用しました。

飯南病院看護師
夏野圭子(上赤名)



飯南病院看護師
明見葉子(下赤名)



飯南病院看護師
藤原友美
(頼原・町区)



大上教貳さんが志々公民館長に



4月1日付で、大上教貳さん(角井)に志々公民館長を委嘱しました。

退職者

3月31日付で、次の職員が退職しました。

岸 卓志(会計管理者)
五明田祥司(飯南病院事務長)
吉岡達雄(総務課総括監)
高橋浩文(教育次長)
星野 誠(自治振興課主査)
水間千佳子(保健福祉課主査)
井上幸枝(さつき保育所長)
金子順子(赤名保育所長)
高尾美枝(さつき保育所主任調理師)
福岡敏江(来島保育所主任調理師)
奥井真由美(来島保育所主任保育士)
岸 京子(飯南病院主任看護師)
澤井清登(頼原中学校主任校務技術員)
吉岡治郎(赤来中学校主任校務技術員)
佐々木親久(建設課主任運転手)

町内で様々な交通安全啓発イベント



地域の交通安全を願って

さつき保育所児のマスク渡し

赤名小学校児童のバレード

4月6日から15日にかけて、春の全国交通安全運動が行われ、町内でも交通安全に関する様々な啓発運動がありました。6日には、来島小学校で交通

安全教室を行いました。児童と保護者が一緒に通学路を点検し、安全の確認や問題点を話し合いました。

さつき保育所は10日、子どもたちが保護者と作ったマスクにメッセージを添え、ドライバードに配りました。

11日には、赤名小学校の交通安全パレードが行われました。鼓笛隊の演奏にあわせ、児童がプラカードを手に赤名連坦地を行進しました。

多くの団体による啓発運動が行われたことで、町全体に交通安全の意識が高まりました。

「しまねナイスパートナー」に中山さん夫婦



副賞の相合い傘をさす中山さん夫婦

「しまねナイスパートナー」は、お互いを尊重し協力し合っ、積極的に地域活動に取り組まれている夫婦を選定す

る県の事業です。今年度の選定に、中山直樹さん、美枝さん夫婦（下赤名）が選ばれました。中山さん夫婦は、地域のヒーロー「おしごと戦隊イソガシンジャー」の活動に、メンバーの一員として取り組んでいます。活動では、仕事に誇りを持ち地域を愛するメンバーが子どもたちに様々なものを伝えていきます。今では町外のイベントに呼ばれるほどの人気で、飯南町の情報を県内外に発信し、町民の皆さんに元気を与えています。

訪れた方に心と体の癒しをサポート

森林セラピーガイドを認定



森林セラピー基地グランドオープンに向け、町は昨年9月から、町民の皆さんを対象に、ガイド養成講座を実施してきました。その中から、講座を修了した次の方を、森林セラピーガイドとして認定しました。

飯南町森林セラピーガイド（敬称略）
上岡 東洋志（野営） 羽場 伸治（小田）
大谷 ミヨエ（花栗） 日高 敬二（赤名）
荻野 英明（戸倉） 藤原 栄彰（花栗）
奥野 伊佐雄（小田） 藤原 久美子（都賀）
景山 道夫（都賀） 三重野 三義（下赤名）
門 眞一郎（上赤名） 三重野 美子（下赤名）
吉川 英雄（花栗） 三原 麻裕美（長谷）
吉川 礼子（畑田） 八嶋 敏江（野営）
倉橋 照男（下赤名） 安原 征治（下赤名）
小林 勝文（野原町） 八幡 誠一郎（上赤名）
塚本 要（野営） 山崎 昭三（小田）
南部 敬子（赤名）

飯南町文化協会設立記念講演会

飯南町文化協会が設立したある飯山街道に対する興味と関心の高さが伺えました。



トマトの樽栽培に期待
安部博明さんが認定農業者に
ハウス野菜として、4月からトマトの樽栽培に取り組み安部博明さん（獅子）を、認定農業者に認定しました。ハウスを使った本格的なトマトの樽栽培は、町内では珍しく、安部さんの新たな取り組みが、飯南町農業の一つのスタイルとして確立することが期待されます。

銀山街道の歴史を紹介
この日は石見銀山と銀山街道をテーマに取り上げ、基調講演とパネルディスカッションが行われました。会場には、町民の皆さん約130人が集まり、飯南町の歴史遺産でも

子宮がん検診

今月は先月号に引き続き、がん検診について、特に女性の子宮頸がんについて紹介します。



Q 子宮頸がんはどんな病気ですか？

A 子宮の入口部分の子宮頸部にできるがんです。

Q がんの原因としてヒトパピローマウイルス（HPV）の関与が考えられています。

早期がんは出血がありません。

Q 子宮頸がん検診は有効ですか？

A きわめて有効とされています。

Q 検診はどのように行われますか？

A 子宮頸部の細胞を採って顕微鏡で調べ、必要に応じて拡大鏡で視診します。

近年20から30歳代の方に、子宮頸がんが増えています。県内で平成18年に子宮頸がん検診された方は、98人いました。そのうち、約半数が20から30歳代でした。このがんは、毎年約30人が亡くなっています。

子宮頸がんは若い世代のがんであるといえます。20歳からは毎年検診を受け、がんになる前に予防しましょう。

お問い合わせ 保健福祉課 TEL72-1770

いのち 彩る 生活

保健・医療・福祉のページ

飯南町では今年度から、HPV検診を子宮がん検診時に実施します（20歳から69歳までの方が対象）。料金は、子宮がん検診の受診料に含まれています。

HPVは、感染しても治療の必要はなく、ほとんどが数年で陰性となります。このウイルス

平成20年度 子宮がん検診

日程
6月 3日（火）・19日（木）
10月15日（水）
料金
800円
会場等、詳細はCATVでお知らせします。

※昨年度の受診状況
受診者数162人
（受診率約11%、対象者1,400人）

こんにちは中山間地域 研究センターです



残雪の県民の森（昨年）

県民の森 オープンしました

4月20日（日）



県民の森イベント

県民の森にも、いよいよ春がやってきました。山々のいたるところで春の芽吹きを感じることが出来ます。

今年の目玉は、「宿泊付き」イベントです。家族や友達で是非楽しみながら山の自然を味わってください。

ゴールデンウィークには

ゴールデンウィークの5月3日（土）には、飯南町森の案内人を講師に迎え、恒例の山

菜教室を開催します。また、5月4日から6日までの間は、どなたでも自由に参加できるオープン講座を午前、午後の2回開催します。

今年のイベントは

今年は、宿泊を行いながら、県民の森の魅力を感じていただくイベントを開催します。大万木山、琴引山トレッキングを5月、7月、11月の土・日曜を利用して行います。8月2日から3日には、親子キャンプ教室を行い、夜には併せて「昆虫教室」を開催します。

身近で素晴らしい自然の残る県民の森へ、多くの町民の皆様方にも来園いただけるよう、冬の2月まで盛りだくさんのイベントを計画しています。

お知らせ

INFORMATION

戸籍窓口で

「本人確認」が必要になります

戸籍や住民基本台帳には、大切な個人情報に記載されています。そのような戸籍などの証明書は、他人に不正に取得されないようにしなければなりません。また、他人が虚偽の届け出をすることにより、戸籍などに真実でない記載がされることのないようにしなければなりません。

このようなことから、役場窓口では証明書による「本人確認」が、5月1日から法律上のルールになります。

■対象となる証明書

・住民票などの住民基本台帳に関する証明書

・戸籍謄本などの戸籍関係証明書

■本人確認の対象者

窓口に来られた方

■確認の方法

・住民基本台帳カード、運転免許証、パスポートなど官公署発行の顔写真付き身分証明書

・健康保険証、各種年金証書、預金通帳、社員証など顔写真のない場合は複数の書類

■お問い合わせ

住民課 町民生活担当
76・2213

平成20年度の 国民年金保険料額が決まりました

今年度の保険料月額14,410円となりました。付加保険料月額は、前年度と同額の400円です。保険料納付は、まとめて事前に支払う前納制度や、口座振替が便利でお得です。口座振替の手続きは、役場、各社会保険事務所、一部の金融機関の窓口へ備え付けられている申込用紙によりお申し込みください。

納付方法	金額等
納付書 (1月分:翌月末納付期限)	14,410円
口座振替 (1月分:当月末引き落とし)	14,360円 ※申請書処理後、翌月から口座振替を開始します。
納付書 (6ヶ月分前納:10月～3月分)	85,760円 ※10月未が納付期限です。
口座振替 (6ヶ月分前納:10月～3月分)	85,480円 ※手続きは8月末日までに各社会保険事務所へご連絡ください。
納付書 (1年分前納:4月～3月分)	169,850円 ※平成20年度は5月1日が納付期限です。
口座振替 (1年分前納:4月～3月分)	169,300円 ※平成20年度は締め切りました。 ※平成21年度は、平成21年2月28日までに手続きを行ってください。(注:金額は20年度分です)

■お問い合わせ 住民課 税務保険担当 76・2213

雲南警察署からのお知らせ

悪質商法の対策

不審に思ったら
早めに断りましょう。

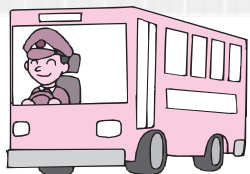
悪質セールスマン撃退
3か条

- ① 勇気だしはっきり言う「いりません」
- ② しつこいなそんな相手は110番
- ③ 迷ったら一人で悩まず相談
クーリングオフ

訪問販売などについては、8日以内であれば契約を解除できる場合があります。

雲南警察署 TEL 0854・42・0110

病院へは便利で安心な 公共交通(バス)を利用しましょう



出雲方面平日ダイヤ時刻

波多→佐田→波多(午前)

バス停名	時刻	バス停名	時刻
佐田行		頼原行	
波多	7:00	出雲須佐	8:10
波多駐在所前	7:41	波多駐在所前	8:36
柄栗	7:45	恩谷	8:46
出雲須佐	8:03	飯南病院	8:55

波多→佐田→波多(午後)

バス停名	時刻	バス停名	時刻
佐田行		頼原行	
飯南病院	12:30	出雲須佐	13:30
恩谷	12:39	柄栗	13:51
波多駐在所前	12:49	波多駐在所前	13:56
出雲須佐	13:15	頼原	14:33

赤名三次線平日ダイヤ時刻

三次行

バス停名	時刻
赤名	6:55 9:00 14:00 17:40
三次駅前	7:42 9:47 14:47 18:27
三次市民病院	7:51 9:56 14:56 18:36

赤名行

バス停名	時刻
三次市民病院	8:00 12:00 16:35 18:40
三次駅前	8:09 12:09 16:44 18:49
赤名	8:56 12:56 17:31 19:36

【お問い合わせ】住民課 町民生活担当 TEL 76-2213

あこやかにか

3月届出分

新生児 3月届出分
松田 賢星(頼原)
三島 瑞生(上赤名)
三原 花凛(長谷)
平田 大將(下赤名)
澤田 哲平(下赤名)
誠吾(下赤名)

今月の表紙

4月9日、町内の小・中学校で入学式が行われました。各学校では、真新しい制服に身を包んだ新入生が、教職員や保護者らに見守られる中、新しい学校生活をスタートしました。

頼原小学校の入学式では、新入生が在校生の温かい拍手の中を入学し、出席者全員で入学を祝いました。

2年生による歌や踊りを交えた、歓迎の言葉の後、校長先生に教科書を手渡された新入生は、新しい学校生活の始まりに、胸を膨らませている様子でした。

イベント情報

ぼたんまつり2008 in 飯南

赤名観光ぼたん園で、今年もぼたんまつりを盛大に開催します。メインイベント日の11日には、昨年完成した赤名ふれあい公園をメイン会場に、様々な催しを用意しています。

- 期間 5月10日(土)～18日(日)
- 会場 赤名観光ぼたん園
- メイン日内容
ステージイベント・やまめつかみ取り・フォトコンテストなど

大万木山ブナ林観察会

指導員による草木の紹介や、大万木山にちなんだ昔話等を聞きながら、楽しく山頂を目指します。新緑の緑に囲まれて雄々しくそびえ立つブナ林の中で、森林浴を楽しみましょう。

- 日時 5月18日(日)9時～
- 会場 大万木山
- 定員 120人
- 参加費 500円
- 持ち物 弁当・水筒・筆記用具・雨具・双眼鏡など
- 参加方法 電話またはファックスでお申し込みください。
締切日 5月12日(月)
- 問い合わせ・申込み先 政策推進課プロジェクト担当
TEL 76・2214 FAX 76・2221



しまね版特区」申請受付

「しまね版特区」は、みなさんが地域の活性化のため取り組もうとしている事業が、様々な規制により実施が困難なときに、規制の特例措置を設けることによってその実現をはかる制度です。NPO、住民グループ、民間企業など、どなたでも申請可能です。申請にあたっては、お気軽にご相談ください。

■申請受付期限 5月21日(水)

■お問い合わせ

島根県地域政策課まちづくり支援グループ
0852・22・6234

まちのスケジュール

2008 平成20年 5月

日	月	火	水	木	金	土
4/27	4/28	4/29 昭和の日	4/30	1 □ 赤来中遠足	2 □ 志々小家庭訪問	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 □ 赤来中家庭訪問 ● 軽体操 (保健福祉センター)	8 ● ポリオ生ワクチン 投与(保健福祉センター)	9 ● 行政相談 (さつき会館)	10 □ 頼原中PTA総会 ● 子ども活動 (来島・来島基幹集落センター)
11 □ 赤来中授業公開日 ・PTA総会 ● とんぼ探検隊 (頼公・生涯学習センター) ● ぼたんまつりメイ ン日(赤名観光ぼたん園)	12 ● スマイルりんご (来島保健センター)	13	14 □ 町小学校陸上大会 (頼原町民グラウンド) □ 各保育所地域開放日 □ 赤名・来島保育所 親子バス遠足 (場所未定)	15	16	17 □ 飯南高等学校開放 ・PTA総会 ● グラウンドゴルフ大会 (頼公・頼原町民グラウンド)
18 ● 大万木山ブナ林 自然観察会	19 ● スマイルりんご (来島保健センター)	20	21 □ 赤名小家庭訪問 ～22日 □ 桜ヶ台保育所親子 遠足(浜田:アクアス)	22	23 □ さつき保育所親子 バス遠足(場所未定)	24
25	26	27 ● 町健康診査 (谷体育館) ● どんぐりデイズ ～31日 (頼公・生涯学習センター)	28 □ 来島小家庭訪問 ～30日 ● 町健康診査 (旧小田小体育館)	29	30 □ 島根県高校総体 ～6月1日	31

□ 教育 ● 健康・保健 ● 文化・体育 ● その他



決められた日時を
お守りください

し尿汲取り日		頼原地域 ▲ 72-1401 赤来地域 ▲ 76-2441	
汲取り地区	汲 取 り 日		
頼 原	7日	9日	27日 29日
志 々	12日	14日	
赤 名	2日	4日	22日 24日
来 島	17日	19日	

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資 源 物	
収集地域	収集日
頼原	21日(水)
赤来	28日(水)

	金属類・粗大物	ガラス類
収 集 地 区	収 集 日	収 集 日
頼 原 連 坦 地	26日(月)	12日(月)
八 神 連 坦 地	28日(水)	14日(水)
志々・頼原の連坦地以外	27日(火)	13日(火)
赤 名 連 坦 地	19日(月)	7日(水)
来 島 連 坦 地	21日(水)	9日(金)
赤名・来島の連坦地以外	20日(火)	8日(木)